



# 飯田高校だより

第60号

令和5年12月27日  
長野県飯田高等学校  
教務係・学校評価委員会

「飯田高校だより」は、学校評価に関わる学校の情報を、保護者の皆様に来るだけわかりやすくお伝えすることを目的に年3回発行いたします。今号では、8月から12月までのようすと学校評価(中間評価)をお知らせします。

## 各種行事のようす

### ✓ 1学年 大学模擬講義(9月8日)

様々な分野の大学の先生方に依頼をし、対面・オンラインで模擬講義(文系5講座、理系5講座、医療系3講座の合計13講座)を実施しました。「グローバル化と地域経済」や「『良い』会社の見分け方」など、大学の講義を高校生向けに実施していただき、生徒たちは真剣な眼差しで聞き入っていました。大学を身近に感じることができ、生徒にとって貴重な経験となりました。



### ✓ 2学年 9月進路研修旅行(9月8日)

9月8日に進路研修として京都大学や名古屋大学、信州大学などに出向き、大学の研究施設、キャンパスの見学を行いました。生徒たちは大学での学びがすぐそこまで近づいていることをひしひしと感じながら、学部の説明、模擬授業など先生方の話を聞いていました。3年生になるまであと半年です。自分が何を目標として勉強しているのか、自分のしたいことは何なのかを考える良い機会となりました。



### ✓ 秋季クラスマッチ(10月3、5日)

第三回の定期考査後、肩の荷が下りた清々しい気持ちで秋季クラスマッチを執り行うことができました。ぐずついた天気を気にも留めずに、バスケットボール、バレーボール、バドミントン、卓球、ソフトテニス、サッカーの6競技が行われ、どの競技においてもクラスが一つに団結し、白熱した試合が行われました。

3年生にとっては最後のクラスマッチでしたが、飯田高校生活の思い出に残る学校行事となったのではないかと思います。



## ✓ 短期留学生来校(10月10日)

10月10日から11月2日の約1か月間、アルゼンチンからサンティ君が短期留学生として来校し、1年生の授業に参加しました。留学前からオンラインで日本語を勉強していたこともあり、サンティ君の日本語力には教職員・生徒も驚かされました。日本の高校で一番興味があったことはアルゼンチンの高校にはない『部活動』とのことで、1か月間でラグビー、空手、弓道等様々な班活動に挑戦し、サンティ君はもちろん、生徒にとっても充実した1か月を過ごすことができました。



## ✓ 生徒大会(10月23日)

1・2年生の生徒が大体育館に集まり、新体制による生徒大会が開催されました。全体を通して滞りなく、スムーズに進行できました。

コロナ禍により規制されていた諸行事を、新しいかたちで再開していくこととなります。自分たちなりに何ができるかを考え、自主自立の精神で活動してもらいたいと思います。

新生徒会自治会長 2B 佐藤 遼 さん  
新副会長 2C 城田 桜希 さん  
2E 坂井 芙優 さん



## ✓ 2学年修学旅行 12/5(火)～7(木)

天候にも恵まれ、充実した3日間を過ごすことができました。九州と大阪・京都を観光し、それぞれの土地の自然や文化に触れてきました。この旅が高校生活のよい思い出のひとつかけらになることを願います。



## 理数科特集

### ✓ 1学年理数科 校外研修 於 菅平高原(10月12日)

1学年理数科は、「筑波大学山岳科学センター菅平高原実験所」で校外研修を実施しました。

実験所の施設見学や、町田龍一郎先生の模擬講義を受講しました。施設周辺を散策しながら植生を観察から始まり、『大繁栄を遂げた昆虫類～彼らの成功の秘密?～』というテーマの講義、光学顕微鏡や電子顕微鏡観察実習など充実した研修となりました。

学校を離れ、実際に手や足を動かして実習できたことは、自身の進路を考える一助になったと思います。



### ✓ 2年理数科 東京大学見学(8月31日)・科学

#### の甲子園予選会(11月12日)

2学年理数科では、8月31日(木)に東京大学および東京地方裁判所の見学に行ってきました。東京大学では模擬講義や学生との交流を行いました。午後は東京地方裁判所で裁判を傍聴しました。

11月12日(日)には、有志12名が科学の甲子園予選会に参加しました。普段のテストとは異なり、グループで相談しながら問題を解いたり、実技課題に挑戦しました。他校の様々なアイデアにも刺激を受けました。地学部門では、全体1位の表彰を受けました。



### ✓ 総合研究大学院大学の院生との交流(11月6、7日)

11月6日(月)に、理数科の1、2年生および普通科の希望者を対象に「未知への挑戦 2023」と題して、総合研究大学院大学(総研大)の院生による講義がありました。情報学や日本語言語科学といった分野で研究に取り組んでいる若手の大学院生から、研究の内容やどのような高校生活を送ってきたかなどを和やかな雰囲気の中で聞くことができました。

7日(火)は、1、2年理数科の生徒と総研大の方々と交流会を行いました。グループに分かれ、探究活動や進路・学習に対するアドバイスをいただきました。



# 班活動 新人戦等各種大会結果

剣道	男子団体	南信大会 3位、県大会出場
	女子個人	南信大会 2-C 村下 5位、1-E 村松 6位、2-C 中塚 7位
	女子団体	南信大会 優勝🏆、県大会4位、北信越大会出場🏆
ソフトテニス	男子個人	南信大会 2-E 松尾・2-F 清水 ベスト16
	男子団体	南信大会 ベスト8
	女子個人	南信大会 1-C 佐藤・1-F 井坪 ベスト16
バスケットボール	男子	南信大会 3位、県大会出場
バレーボール	女子	南信大会 準優勝、県大会出場
バドミントン	女子個人	南信大会ダブルス 神崎・松下 優勝🏆、井澤・遠山 ベスト8
		シングルス 神崎 優勝🏆、松下 準優勝
		県大会シングルス 神崎 ベスト16
弓道	女子団体	南信大会 優勝🏆、県大会 ベスト8
	男子個人	南信大会 2-E 山内 優勝🏆、2-B 近藤 11位
	男子団体	南信大会 3位、県大会 準優勝、北信越大会 ベスト8🏆
邦楽	女子個人	南信大会 1-D 仲平 9位、2-A 折竹 12位
	女子団体	県大会出場(2チーム)
		第39回長野県邦楽フェスティバル 最優秀賞🏆 令和6年度全国総文祭 県代表内定🏆

1月に県大会が実施される競技もあります。続報にご期待下さい。

## ☎ 悩み相談窓口のご紹介

学校生活での悩みや相談は一人で抱え込まないで、担任の先生や相談しやすい先生に些細なことでも話してみましょう。話すことで心が軽くなります。もし直接話しにくいようなら、LINEでの窓口なども用意されていますのでご検討ください。

### LINE 相談窓口「ひとりで悩まないで@長野」

○毎週水曜日及び1月・3月の日曜日

○受付時間

18時～21時(相談終了21時30分)

○相談方法

右のQRコード、または

以下のURLから友達登録

(<https://lin.ee/EjAKtzN>)

※令和4年度のアカウントは使えません



### 校外相談窓口

・学校生活相談センター

電話:0120-0-78310(24時間)

メール: [gakko-sodan@pref.nagano.lg.jp](mailto:gakko-sodan@pref.nagano.lg.jp)

### 子ども支援センター

子ども用:0800-800-8035(無料)

月～土 10:00～18:00

(日曜日・祝日・年末年始は休み)



令和5年度 学校評価表の目標達成のための重点事業

学校評価委員会

部署	関連項目	令和5年度 目標達成のための重点事業	改善点・提言
教務・庶務・防災	10,11	保護者・地域への的確な情報発信	効果的な情報発信とペーパーレス化推進のため、学校だよりを配信形式に変えた。
	1,2	組織として円滑な学校運営	職員会議もペーパーレス化を定着させ、クラウド上に共有化するなど工夫を続けている。
	1,10	職員間での適切な情報の共有の推進	コロナウイルス禍が収束に向かう中で社会や生徒の実態に即した柔軟な校務運営を心掛けている。
	2,9	防災訓練の実施と工夫、防災教育の充実	想定される災害の発生に向け、防止マニュアルの改訂に着手した。
情報ネットワーク	1,5	情報ネットワークの更新管理	一人一台端末の導入も3年目を迎え、全校生徒に対して、タブレット端末を活用した教育活動を行うことができるようになった。アプリケーションの導入も視野に入れながら、一層効果的な活用を促進できるような取り組みを行いたい。
	4,5	校内LAN・普通科PC教室についての環境整備	情報機器やケーブル等の貸出管理が散逸しがちであり、適切な管理方法について検討が必要である。
	1,2	個人情報について、適切なデータ管理を徹底する(アクセス制限など)	
	1	職員間の情報共有に関して、イントラの充実をすすめる	
授業計画	5,6	学習効果を高める時間割編成の研究	特編授業、3年テスト返却もバランスを考えて計画できた。
	5,6	考查・特編の計画・実施	科目選択は早くから取り組んだが、特に新3年は新たな科目が設置され、今後更なる研究が必要である。
	5,6,7	科目選択及び講義編成の工夫	
進路指導	5,6	進路通信・学年進路通信の発行、模試結果の分析	各学年の進路行事・模試をはじめ、信州大学説明会、大学模範講義、予備校講師を招いての医学科セミナー、入試研究会、受験対策講座などを、計画通りに実施している。
	5,6,8	進路情報の提供	各学年の進路通信により、模試・探究学習・学習指導など多岐にわたる内容を伝えている。進路室通信も適宜発行し、生徒への情報提供や進路意識の向上を図っている。
	5,8	進路検討会議の実施	前年度入試結果・最新入試動向などをまとめた資料を、学校評議員会・同窓会・PTA等に提供している。
	1,10	懇談会への資料提供	大学入学共通テストや年内入試に向けて、適時情報を発信しながら出願指導・確認作業を行っている。
	7,8	キャリア教育全般	
学習指導	5,6	学習計画の立案と実施 シラバスの作成	小論文指導では、3年前から予備校の講師に変更し、講演会を実施した。46名の生徒が参加し質問等行い好評であった。また、小論文個人添削では今年度は専門の業者に依頼した。
	5,6	小論文指導	人権平和学習は、中村哲医師のドキュメンタリー映画「荒野に希望の灯をともす」を鑑賞し、振り返りフォームに感想等まとめて提出した。
	5,6,7	補習計画	「学習室便り」を発行した。
	5,6	総合的な探究の時間	長期休業の補習は計画通り実施することができた。それ以外にも各学年による補習が積極的に行われた。
	2,3	人権平和学習(10月)	学習室を拡張してから、生徒の利用時間、使用頻度が大きく増している。
	6,7	学習室・自習室の環境整備	匿名性を担保した授業評価の調査では、今年度から全面的にGoogleForm入力に切り替え効率化が図られた。
	6,7	生徒による授業評価の実施と分析	総合的な探究の時間は、学年の学習習慣が中心となり、計画に従い実施することができた。
	6	授業公開・研究授業などの立案・計画	
図書視聴覚	4,9	日常および学校行事での放送協力	各分担任ごとに、着実に計画通り進んでいる。探究学習や進路に関する情報など、必要な時に適切な資料を提供できるよう心掛けている。
	7,9	図書通信の発行	図書資料のうち新書の需要が増加しているため、需要の高い分野について計画的に購入していきたい。
	5,9	各学年・係・探究活動と連携した資料提供	
	6,8	小論文・面接などの資料提供	
生活指導	2,4	安心・安全な学校づくり	通学時における交通安全について全校で集まる機会などを捉えながら注意を促してきた。自転車事故などは年度当初があったが減少してきた。
	2,4	基本的な生活習慣の確立	スマホ利用についてはゲーム依存など課題もあるように思う。今後も指導方法など含め引き続き検討していきたい。
生徒会指導	1,4	高松92宣言の遵守	高松祭は、4年振りコロナ禍前と同様に開催することができた。2日通じて3000人程の来場者を集め盛況であった。感染症熱中症対策やおもてなしの姿勢など今後生かしていきたい。
	2,9	高松祭などの行事の運営	各委員長を含めた役員会を行い、活動状況を互いに把握するとともに積極的に委員会の活動が展開されるよう工夫した。
	2,9	委員会活動の活発化	役員の発足にあたり、いこの橋の別室を全役員で行いあらためて高松92宣言の意義を確認させた。
	7,9	班活動の活発化	
教育相談	1,4,7	アンケートによるニーズの把握と問題の発見及び予防	悩みアンケートおよび学校環境適応度「アセス」により、悩みを抱える生徒の面談や相談に活用し、手助けに活かすことができた。係会や科担当委員会等を通じて、生徒の情報共有や合理的配慮についての理解を深め、相談力向上事業も活用して生徒・保護者に丁寧に関わり、SC・SSWと連携しつつ道義のない支援及び環境整備を図ってきたい。
	1,4,7	生徒・保護者の支援及び環境整備	
保健衛生	1,4	生徒・職員の健康管理	例年行っている救命救急講習は、急激なコロナ蔓延に伴い直前に中止とせざるを得なかった。今後も感染症の影響もあり課題は多いが、引き続き安全面に配慮しながら、生徒、職員の健康状態を見守ってきたい。
	2,4	学校安全の徹底	
美化	2,4,9	全校生徒の美化・環境意識の向上	前年に引き続き感染症対策として個人のゴミの持ち帰りに全校で取り組んでいる。今後も持ち帰る意義を理解してもらい、継続につなげたい。新型コロナウイルス感染症が5類に下がったため、できる範囲で美化委員会の当番活動を再開することができた。
PTA	10	学校と保護者の連携	PTA行事は概ねコロナ前に戻り、多くが対面で実施することができ、一定の成果を得ることができた。その中で、研修旅行は諸情勢を踏まえ中止とし、来年度以降それに代わる事業を考えていくこととなった。
行政	4	校舎内外の環境整備の推進	本館1～4階トイレ洋式化等改修工事を実施した。
	4	エコマネジメント長野への取組推進	限られた予算の中、学校施設の小規模修繕、樹木の剪定・伐採等、環境整備に努めた。
	10	来校者等への親切・丁寧な対応	コピー用紙の削減、使用していない教室等の消灯や冷暖房の適切な使用を呼びかけた。
1学年	5,6,7	iPadの活用と家庭学習習慣の確立	学校活動全般でタブレットの活用については定着させている。生徒のスマートフォンとタブレットの使い分けに課題がある。
	7,8,9	挨拶・清掃など基本的な生活習慣の確立	コロナ以前の学校生活に戻り、普通の高校生活が送れていることはありがたい限りである。欠席の多い生徒もいるが、想定していたよりは少ない。
	3,8	いじめ・暴力などに対する人権感覚の育成	問題行動も少なく、落ち着いている。「いじめ・暴力」については、発生してからは遅いので、機会があることに指導したい。
2学年	4,5,6	家庭学習習慣の確立	学年通信などでの呼びかけやグループクラスルームを利用しながら家庭学習の充実指導に取り組んだ。基本的な生活習慣の確立、班活動の向上については、生徒とのこまめな面談を通じ指導を行っている。
	6,7,8	挨拶・清掃など基本的な生活習慣の確立	いじめ・暴力の根絶については、HR活動や授業を通して、その重要性を引き続き理解させたい。家庭連絡を密に行うことで保護者との信頼関係を構築し、協力体制を強めていくことを意識しながら諸々の指導を継続していきたい。
	1,8	いじめ・暴力などに対する人権感覚の育成	
	9,10	保護者との信頼関係の確立	
3学年	5,8	目標目的を重視した志望の進路実現	本人、保護者と懇談を丁寧に行い共通認識の下で進路選択をできるように心掛けた。生活がコロナ禍前の状態に戻り、例年通りの入試形態に戻した大学も多く、不安要素が多い中、最新情報を入手し着実に進路指導ができるよう留意した。班活動の大会や行事のコロナ禍前のように実施されたが、最上級生の立場になった生徒たちは多くの苦難があり、生徒たちの気持ちに寄り添い目標に向かえるよう配慮して指導した。過去2年間の状況と変わり、欠席に關してはベースをふまえずに欠席の多い生徒もいたが、各個人ごとに対応することができた。最終学年として心身ともに、個々にも集団としてもたくましく成長した姿となるよう指導を継続していきたい。
	9	社会性・協働性の育成	
	11	生徒保護者と学校の連携	